



行動派宣言・長野市議会議員

布目ゆきお市政直便

2011年9月1日

NO. 29

【編集・発行】

長野市議会議員・布目裕喜雄

布目ゆきお後援会

長野市安茂里 3605-1 ☎217-5810

みんな

市民が主役のまちづくり、安茂里から

未来へ。ずっと笑顔、安心して暮らすために

市民会館の建て替え、地域公共交通の活性化、雇用の確保、安心が実感できる福祉の充実、子育て・子育て支援の拡充、中山間地域の活性化などに加え、学校の耐震化、ごみ焼却場の建設や新斎場の建設など大規模事業が目白押し、課題山積の長野市政。

地域主権の時代にあって、大切なことは、市民一人ひとりが「行政にお任せ」から自立し、まちづくりの主役になることです。そのためには情報公開、市民参加が不可欠です。

2期8年間の経験を礎に、市政全体のチェックと政策提案の力をさらに磨き、市民みんなが主役となるあたたかい市政、政策本位の緊張感ある開かれた市議会をめざし全力を尽くします。



長野市議会議員 布目ゆきお

布目ゆきおの重点政策目標

- ◆東日本大震災の教訓を活かし、住民の安否確認体制と施設の耐震化を促進。浸水、土砂崩れの防止策を充実し、自然災害に強いまちづくりを進めます。
- ◆原発依存から脱却し、自然エネルギーへの転換を図ります。放射能汚染をチェックする態勢を強化するとともに、原発災害に備える防災計画を進めます。
- ◆コスト削減ありきではなく、市民の活力、安心・安全を最優先する市政をめざします。
- ◆福祉や医療、教育で市独自の負担軽減策を実現し、暮らしのセーフティネットをつくります。
- ◆公共交通網を整備し、歩いて暮らせるまち、バリアフリーのやさしいまちをつくります。
- ◆農林業の振興、中小企業を支援、企業誘致で働く場を創出します。
- ◆人権が尊重されるまち、平和を発信する市政をめざします。
- ◆常設型住民投票条例の制定へ。市民の声が活かされる市政に取り組みます。

住民投票条例を議員提案するも、僅差で否決に

■議員提案条例の発案者として力尽くす

第一庁舎・市民会館の建て替えの賛否を問う住民投票条例案は市議会でも否決されました。住民投票は、市長と議会の二元代表制を補完するもので、市民の政策決定への参画の機会を保障するものです。私は、議員提案の住民投票条例

を発議した一人として、条例制定に取り組みましたが、適いませんでした。

■市民に向き合い、議会の責任果たす

条例案は否決されましたが、市民の自治力を信じ、市民の信頼と負託に応えられる議会を実現するため、これからも力を尽くす決意です。

市民会館建設は、震災復興財源を見据え、見直しを

市民感覚で、安心の暮らしと自治を育む

安茂里を原点に、長野市の将来を考え 行動します。働きます。



布目ゆきお市議 4年間を振り返って…

利用料値上げは活力失う 値上げ凍結を求め続ける

市では成人学校の受講料値上げを皮切りに、講座受講料や施設入館料、がん検診など70の行政サービスで値上げを検討。私は一貫して、苦しい家計状況に鑑み、値上げの凍結を主張してきました。結果、児童センターは無料継続、少年科学センターや博物館の入館料は据え置きとなりました。

がん検診受診料の値上げ 据え置きに

今年4月から値上げを予定していた受診料値上げに対し、「まずは受診率の向上に力を注ぎ、市民の健康を守ることが大事」と訴え、据え置きを実現しました。しかし、検討は継続するとされ、今後も負担増に厳しい監視が必要です。

また、水道料金の値上げでも「負担が重すぎる」と指摘、原案の下方修正を提案し実現しました。

格差是正に向け、 市独自に暮らしの命綱を

格差の拡大は深刻になる一方、医療や介護、障害者の自立支援で、市独自の負担軽減策を求めてきました。市は「独自の軽減策は自治体間格差を広げる」としがらみが強いのですが、身近な市行政が「暮らしの命綱」となります。市独自に暮らしのセーフティネットを広げるよう、引き続き取り組みます。

地域公共交通の再生… 乗合タクシー安茂里線の 運行開始に努力

地域公共交通の再生は喫緊の課題。交通空白地域の解消や市内路線バスの維持・利便性の向上、ICカード乗車券の導入に力を注ぐとともに、公共交通の利用転換に取り組む企業への税制優遇措置や公共交通利用エコポイント制度の導入を提案してきました。また、長野電鉄屋代線が住民合意なきまま「見切り廃止」されることに異議を唱え、沿線住民と連携しながら存続を働きかけ続けてきました。

「乗って残す公共交通」…地元では、本格運行となった乗合タクシー安茂里線をもっと便利にするために努力します。



放射線のチェック万全に 安定ヨウ素剤の備蓄を

福島原発事故から、放射性物質のチェック体制の確立、食品等の放射能測定機器購入を求めるとともに、甲状腺がんの予防につながる安定ヨウ素剤の備蓄を強く求めています。

市民会館建て替え、 権堂から現在地を主導

第一庁舎・市民会館の建て替え問題では、当初から市民会館の権堂案に反対し現在地での建設を提唱、建設地転換をリードしてきました。

そして今、見直しを主張

そして今日、大震災を踏まえ、第一庁舎は防災拠点として最優先で建て替えを、市民会館はさらに基金を積み立て将来に備え先送りをと提案しています。市民会館はどんな芸術文化活動の拠点としていくか、もっと市民的議論が必要になっていると考えます。

子どもに安全な居場所を

学校の空き教室等を利用した「放課後子どもプラン」づくりが進められています。とはいえ、空き教室はままならない現実も…。定員オーバーとなっている児童センターの拡充こそ必要と取り組んできました。H24年度からは有料で時間延長が検討されています。今後も引き続き、子どもたちの安全で安心な居場所づくりのために力を入れます。

住民自治を育む住自協へ

住民自治協議会が本格稼働して1年半。行政の肩代わりではない、新しい住民自治の仕組みとなるよ



う行政からの支援策を拡充するとともに、住民参加によるまちづくりの前進に向け、議員の立場でしっかり応援していきます。

議会改革の先頭に 議会基本条例を制定

議員の不祥事を契機に、議員の政治倫理条例を制定するとともに、議会の『憲法』である議会基本条例の制定をリードしてきました。

議会に対する不信、厳しい視線を真摯に受け止め、議会自身がこれまでの在り方を謙虚に見直し、行政に対する監視と提案の役割をしっかりと担い、市民の信頼を取りもどすために力を尽くす決意です。

安茂里を住みよく安全に 環境整備に努力

通学路の安全や道路・水路の改修、災害対策など、安全で安心な安茂里をめざし、区長さん方を通じた要望の実現に努力してきました。土砂災害警戒区域にも指定された安茂里、これからも地元安茂里を大切に皆さんの安心、安全のために働く決意です。

もっと住み良い安茂里へ

安茂里地区の長年の課題である■JR安茂里駅踏切の拡張（写真右・歩行者や自転車が安心して渡れるように）■国道19号マンボ橋の改良（写真右下・通学路の安全を）■国道19号の歩道整備（歩く人、自転車にやさしい生活道路の改善）■犀川・裾花川堤防の整備に引き続き努力します。



さらに、こんな課題に取り組む所存です。

■安茂里乗合タクシーをもっと便利に。■子育て支援センターの充実、児童センターの拡充。■街に緑を、公園整備の促進。■雨水排水路の整備促進。地震や水害・浸水対策、土砂災害対策の強化。災害時要支援者援護対策の具体化へ。■河川敷利用を促進し、マレットゴルフ場、市民菜園の拡充へ。



各地で市政報告会を開き、共感広げる。右上は、若者とのトーク。右下は4月のマレットゴルフ交流会より

後援会事務所のご案内

後援会事務所を開設しています。気軽にお立ち寄りください。JR安茂里駅から徒歩2分。駐車場はビル前に10台分あります。

〒380-0955 長野市安茂里 3605 番地-1 山口ビル内
電話 (217) 5810 FAX (217) 5807

